

# 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日 令和8年3月31日

法人名 社会福祉法人 白ゆり会	園名 認定こども園 白ゆりの丘
--------------------	--------------------

まとめ 全体平均 4.17

第2章第2節 乳児期の園児の保育	保育者との基本的な生活面、絵本の読み聞かせ、園外散策、リズム遊びなどの日々の関わりの中で児との信頼関係が構築することでの情緒が安定し、積極的に子どもが体を動かし遊ぶことができた。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	保育教諭と信頼感が築くことが出来た子どもは、基本的には生活習慣ができ日々の保育の中で、様々なことに興味をもち活動することができた。発達に課題のある子どもの特性を理解し、個別の支援をいいていく必要がある。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	3から5歳での異年齢保育で動く中で、それぞれの年齢から刺激を受け、各領域で成長を見ることができた。引き続き、それぞれの子どもの課題を職員同士で共有していき、保育で活かしていきたい。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	アレルギー対応に関して、職員同士で共有し、未然に事故を防ぐ行動をとることができた。また、体調のこまかな変化に気がつき、保護者と共有することができた。
第3章 健康及び安全	災害や安全管理に関して、ヒヤリハットや避難消火訓練のなかで日々話し合い体制を整えることができた。
第4章 子育ての支援	様々な家庭環境の中で、保護者に寄り添いながら子どもの成長を喜びを共有できるように子育て支援を行うことができた。しかし、子育てや家庭での困りごとに関してまだまだ課題は残っているので引き続き、支援のあり方を検討していきたい。
第5章 職員の資質向上	研修では、園内・園外双方で研修を充実させることができた。また、各職員キャリアアップ研修を実施し、保育の質の向上に務める事ができた。今後も研修内容を充実させ、教育・保育の向上を行ってきたい。
総合	クラス運営に関して、クラスの垣根を越えて保育を行うことができ、保育の質の向上に努めることができた。また、安全管理の面で職員同士での話し合いや研修など考えていくことができた。しかし、園内でもヒヤリハットの場面があったので、今後も引き続き園の課題として安全管理を行ってきたい。保護者対応では、子育て支援の面で相談があり、丁寧な対応を心がけたとともに、保護者の方に寄り添う支援のあり方を再度検討していくことが今後も課題に感じた。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.80
「3歳未満児保育」	32	4.16
「3歳以上児保育」	53	4.21
「教育保育の配慮事項」	16	3.88
「健康・安全」	29	3.97
「子育ての支援」	18	3.89
「職員の資質向上」	9	4.78
計	172	4.17

データグラフ

